

◆ リリースに関するお問合せ先 ◆
2020年10月28日
関東学院大学 広報課
TEL:045-786-7049



関東学院大学



EMOSTA



大学授業におけるグループワークの可視化実験を開始 学生が自身の変化や成長を客観視し、学びの意欲を高める

関東学院大学（本部：横浜市金沢区、学長：規矩 大義）、ハイラブル株式会社（本社：東京都豊島区、代表取締役：水本 武志）、株式会社エモスタ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小川 修平）、株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中川 信行）は、関東学院大学経営学部1年次の必修授業「ビジネスプランⅡ」で学生が行うグループワークの可視化・評価実験を開始しました。

少人数単位で協働しながら新しい発想を生み出し、ビジネスプランの作成・発表を行う同授業において、発話の記録・解析システム「Hylable Discussion」を用いたグループワークの議論の見える化と、心理学や人材教育の側面からの考察を行います。本実験においては、ハイラブル株式会社が「Hylable Discussion」を提供、株式会社エモスタが心理学的な分析・考察における協力、そして株式会社マイナビは高校生向けの進学情報を提供する「マイナビ進学」によって全体のコーディネートを行っています。

このグループワーク可視化・評価実験では、学生が作ったビジネスプランのブラッシュアップにとどまらず、企画を生み出すまでのグループワークにおける学生の変化や成長を追うことができ、また、議論をデータで振り返ることで、学生自身が成長を実感したり、不足している能力を知ることができます。学生が客観的に自身を捉え、2年次以降の専門的な学びへの意欲をさらに高め、K-biz に代表される社会と連携した教育プログラムへの積極的な参加が期待されます。

本実験を活用し、学生の成長にさらに効果的な教育の実現を目指します。



参考資料

K-biz とは :

関東学院大学経営学部では、社会連携教育プラットフォーム「K-biz」を構築し、企業の現場の視点を取り入れた教育を推進しています。東証一部上場企業や地元企業などさまざまな業種 11 社が K-biz サポーター企業として参画し、企業人と接しながら実際の社会的課題について考え、学び、その解決に取り組むことでビジネス的な視点を身に付けることを目的としています。



ハイラブル株式会社について :

「音環境分析でコミュニケーションを豊かにする」をミッションに、対面や Web 会議の音声による議論を定量化・見える化するクラウドサービスを開発しています。これまで計測が困難だったグループワーク中の議論をデータ化できるので、学生自身の客観的な振り返りを通じたメタ認知の促進や、エビデンスに基づく議論プロセスの評価が可能になります。



株式会社エモスタについて :

「人の感情」がもたらす事象を「心理学×テクノロジー」で解き明かし、より豊かな人生を送るためのサービス開発・提供を行っています。人の表情データから感情を定量的に解析するソフトウェア『エモリーダー』の開発、学術的な知見をもとにした人材育成・組織内コミュニケーションに関するコンサルティングなど、多様な事業を展開しています。

株式会社マイナビについて :

株式会社マイナビは、多様な事業領域でユーザーの日常・人生をサポートする総合情報サービス企業です。主力事業である人材ビジネス領域においては、就職、転職、アルバイト等を中心とした情報サービスや人材紹介事業を展開。また、進学、ウエディング、ニュース、農業など、多数の生活情報メディアを運営しています。人と企業に情熱を持って向き合い、ユーザー動向やトレンドにあわせた情報を発信しています。

取材等に関わるお問合せ先

関東学院大学 広報課 浜 香代子

TEL : 045-786-7049 kouhou@kanto-gakuin.ac.jp

横浜市金沢区六浦東1-50-1